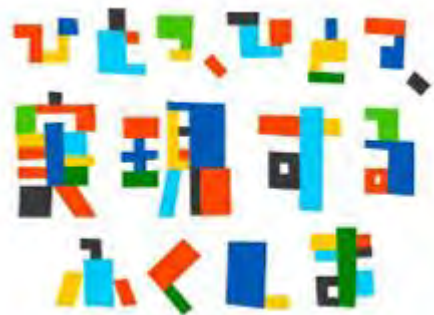


東日本大震災・原子力災害伝承館

震災以前の福島、地震の被害、それに対する国内外の動き、原子力災害を伴う複合災害であること、そして風評被害、新しい産業への動きなど、3.11に関連した福島での出来事を、時系列に沿って学ぶことが出来る。豊富な写真や実物がその生々しさを伝えてくれる。



筆者ポイント 

映像資料が非常に豊富に展示されている。数値的な情報だけでなく、その時福島に居た人の目線で東日本大震災と原子力災害について向き合える事が出来る。



NaIシンチレーションスペクトロメーター

この機械は食品中の放射性物質を測定するために使用されていました。食品を入れるスペースの周囲はフタも含めて厚い鉛で囲まれています。これは自然放射線をさえぎるためです。

食品中の
放射性物質対策

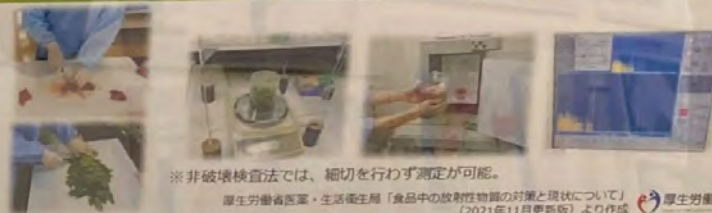
食品中の放射性物質に関する検査の手順

精密な検査(①)と、効率的なスクリーニング検査(②)を組み合わせる実施

- ① ゲルマニウム半導体検出器を用いた核種分析法
- ② ・ NaIシンチレーションスペクトロメータ等を用いた放射性セシウムスクリーニング法
← 短時間で多数の検査を実施するため導入
・ 非破壊検査法を用いた放射性セシウムスクリーニング法

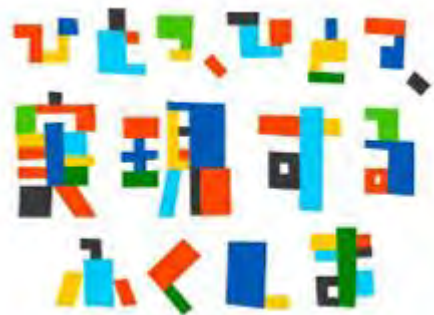
<測定の流れ>

細 切 > 秤 量 > 測 定 > 解 析



語り部講話

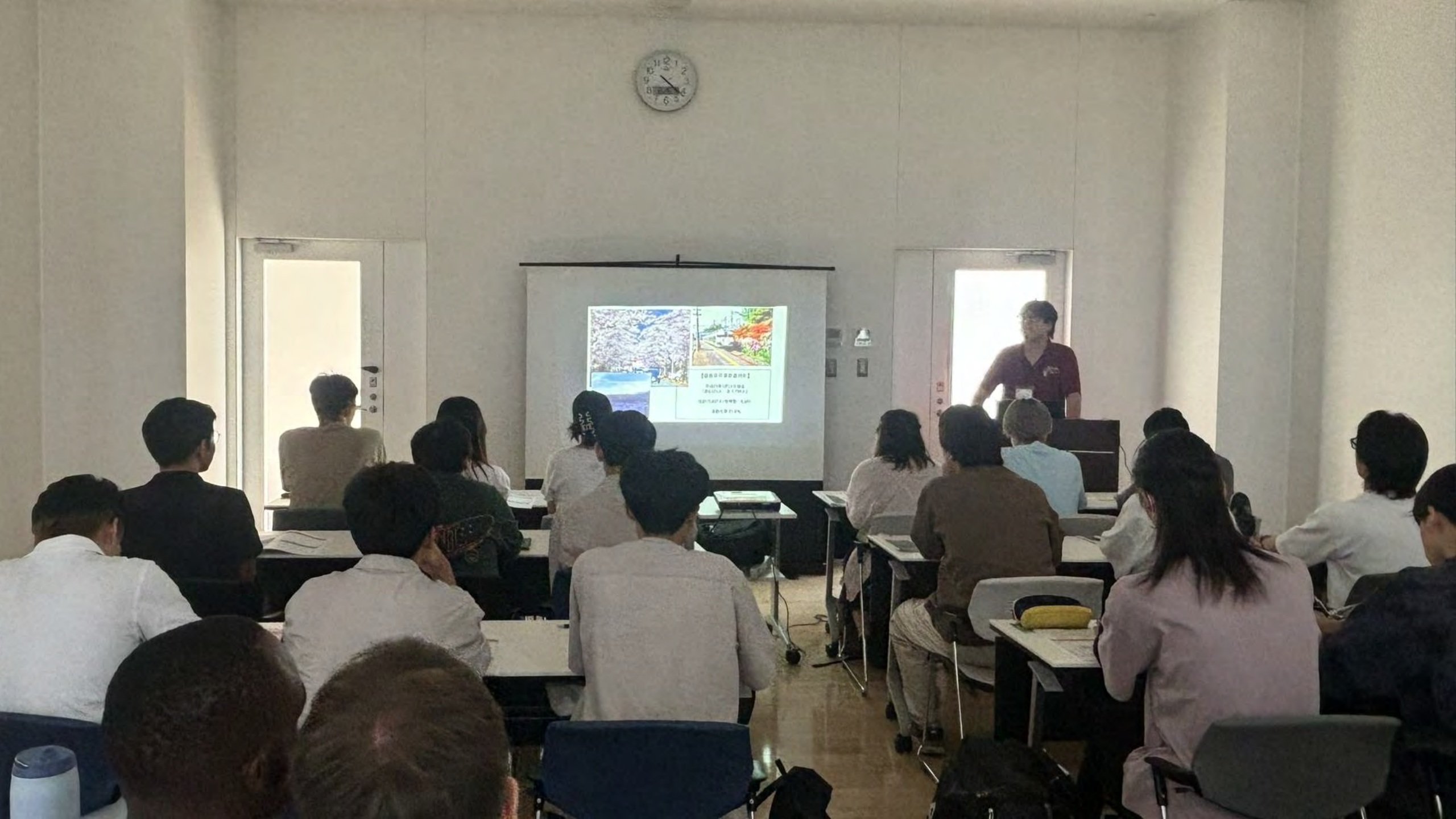
震災の当日からの住民の急激な生活の変化を、語り部の方の体験をもとに語られる。報道や資料で見る避難者の人数だけ、語り部の方と同じような苦労があることを実感できる。
却って忘れられがちになってしまう当事者の視点から3.11を見つめることが出来る。



筆者ポイント 

特に広島に居る私たちは「語り部」と聞くと高齢者の人を連想するが、3.11の語り部には同世代の人も居る。

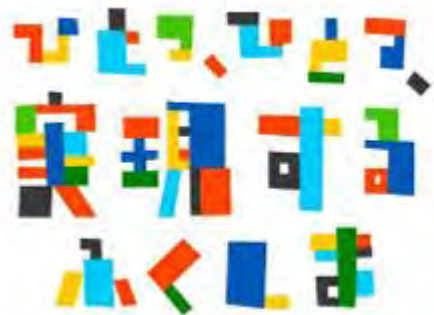




さくらの里双葉 貞

中央やや左にある、するめいかとにんじんを細切りにした料理は、醤油とざらめ、またはみりんの甘辛いたれに漬けたもので、「いかにんじん」という福島の郷土料理。

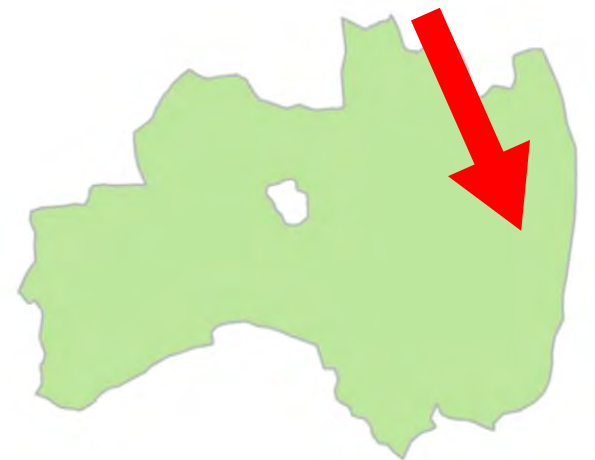
サラダからメインに至るまで福島県内の食材を積極的に取り入れている。



筆者ポイント 

伝承館から徒歩圏にある唯一の飲食店。復興に向かう浜通りに訪れた人に郷土料理を提供し、楽しんでもらいたいという思いが込められているそう。

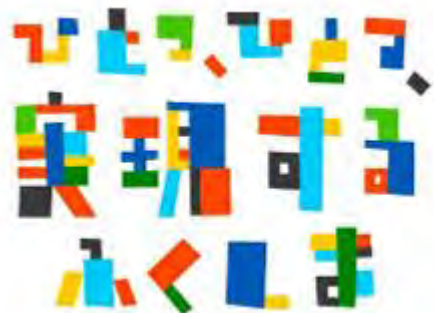
今、ココ！





大熊町立 学び舎ゆめの森

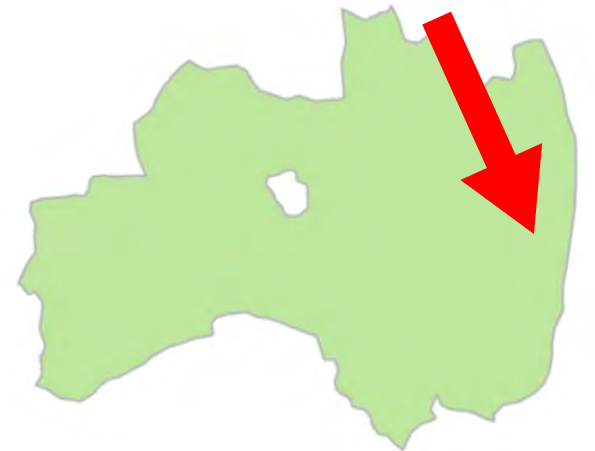
2023年8月に開校。同じ校舎の中に認定こども園と義務教育学校などがある全国的にも珍しい教育施設。学年の壁がなく、フラットな環境の中で子供たちはのびのびと自由に学び、過ごすことができる。教育の新しい形として注目があるまっている。



筆者ポイント 

施設の中にはたくさんの本が置いてあり、まるで校舎全体が図書館のような感じです

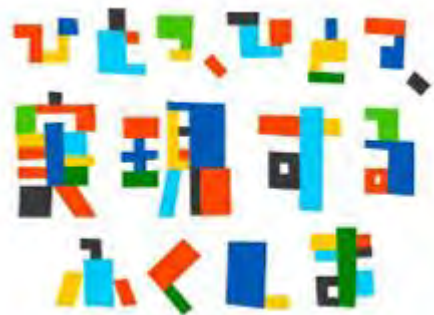
今、ココ！





浅野撚糸(株) 「フタバスーパーゼロミル」

岐阜県に本社を置く浅野撚糸株式会社が2023年に建てた、工場・ショップ・カフェ併設の複合施設。工場を見学することもでき、通路の壁には浅野撚糸の福島や復興に対する想いが綴られている。この施設は双葉町復興のシンボルとなっている。



筆者より

実際にショップでバスタオルを買って使ってみましたが、肌触りや吸収力が桁違いでした。

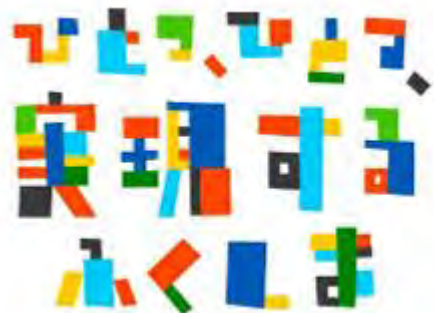
今、ココ！





福島ロボットテストフィールド

浜通りの産業回復のために計画された国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」により整備された施設。広大な敷地の中には、様々な災害現場が想定された構造物などがあり、ドローンのテスト飛行や無人ロボットの走行試験などが行われている。国内だけでなく世界中から注目が集まっている。



筆者ポイント 

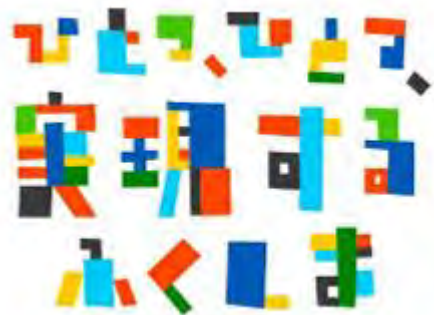
今後私たちの命を救うロボットが実はここから生まれたものかもしれません…





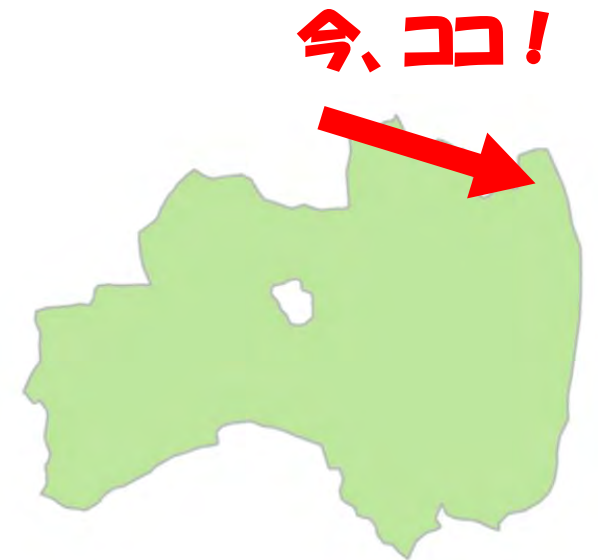
浜焼き

新鮮な魚介類を網に乗せたり串打ちをして甘塩っぱいタレを付けて、炭火で焼いて味わう料理。新鮮なものが手に入る浜だからこそできる食べ方です。海の香りと炭火の香ばしさが相まって絶品です。



筆者より

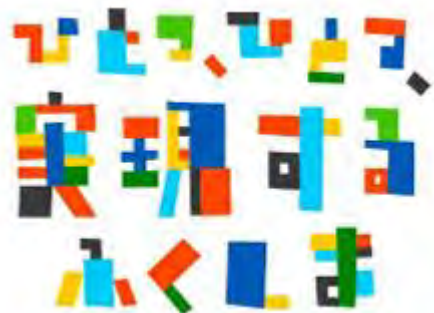
海の近くでしか味わえない浜焼き。福島の良い海を見ながら食べるとよりおいしく感じます。





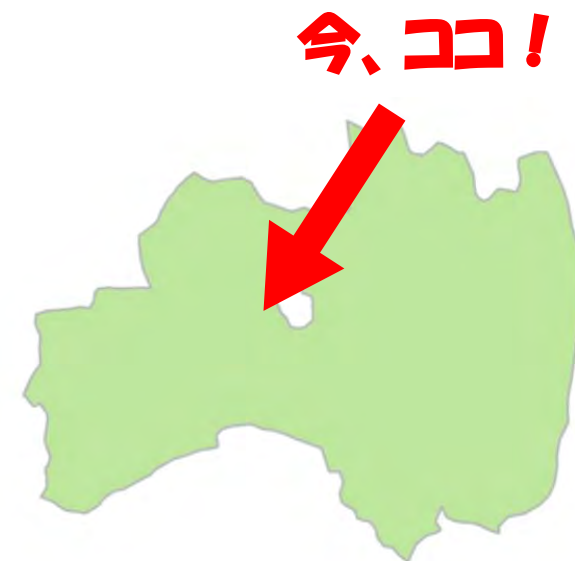
東山温泉

福島県会津若松市にあり、約1300年前に開湯したとされる歴史ある温泉地。江戸時代には会津藩の湯治場として栄え、また詩人の与謝野晶子も訪れている。豊かな自然に囲まれ、溪流沿いには温泉旅館が点在し、四季折々の風景を楽しみながら温泉でくつろぐことができる。



筆者より

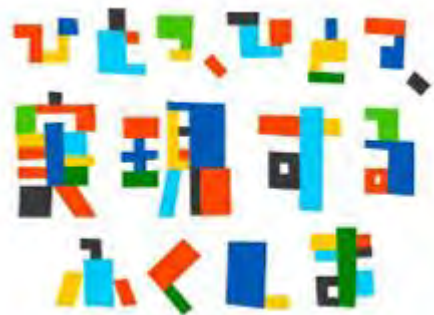
実際に泊まった「千代滝」という旅館では、湯めぐりを味わうこともでき、異なる温泉の雰囲気を楽しむもあります。





鶴ヶ城(会津若松城)

会津若松のシンボルである鶴ヶ城は、桜の名所としても知られ「桜の名所百選」に数えられています。慶応4年(1868)の戊辰戦争では、新政府軍の1ヶ月に及ぶ猛攻に耐え、難攻不落の名城として知られています。2011年に屋根瓦が幕末当時の赤瓦に吹き替えられました。



筆者ポイント 

天守閣では約400年前に積まれたとされる「野面積み」の石垣を楽しめます！





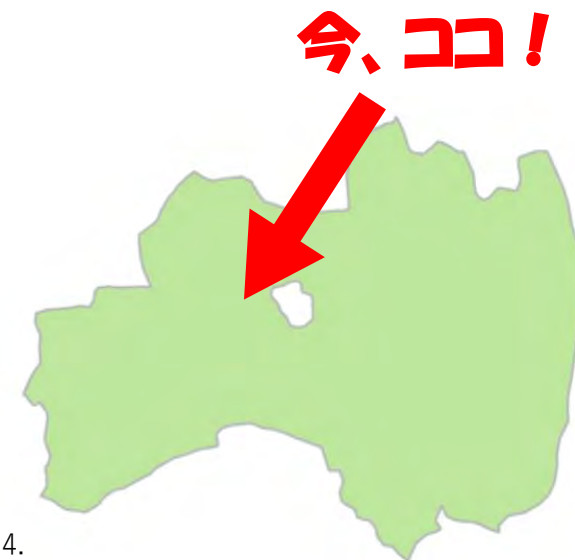
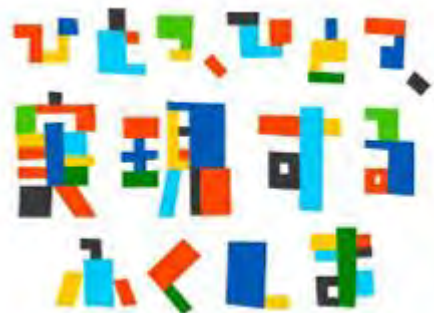
アカベコランド

2024年4月にオープンした、首がゆらゆらと揺れる動きがかわいい赤べこを「見て・学んで・楽しむ」施設です。絵付け体験では、好きな色、好きな絵柄のオリジナルべこを作ることができます。

「赤べこ」とは?? 

赤い小さな牛のこと。400年前以上前に子供のお守りとして作られ、今では会津若松のシンボルとして親しまれています。起源には諸説ありますが、会津の圓蔵寺に由来する説が有名です。807年頃、圓蔵寺を建立する際、住職が重い資材を運ぶために牛を使ったそうです。ところが、ある日、突然、謎の赤牛が現れ最後まで懸命に働いてくれた他の牛たちを引き連れて来ました。この牛に感謝した人々は、境内に赤べこの像を建立し、やがて赤べこは無病息災、開運の意味を持つようになりました。

参照：Japan Tourism Agency Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. 2022.
Traditional Craft-Akabeko Painting. <https://www.mlit.go.jp/tagengo-db/en/R4-00505.html>. 2024,10,24.





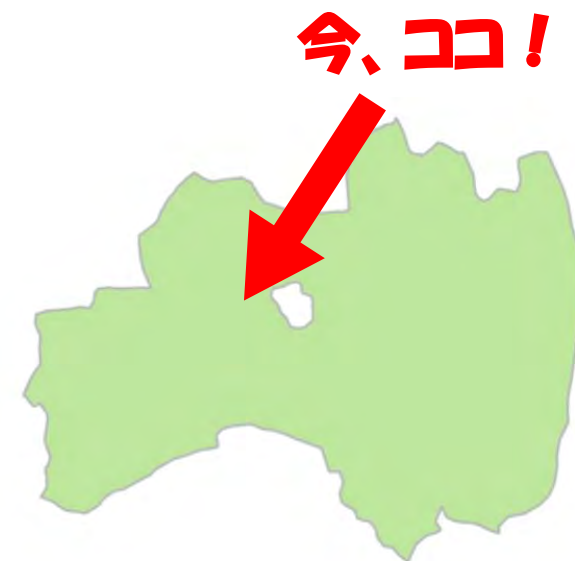
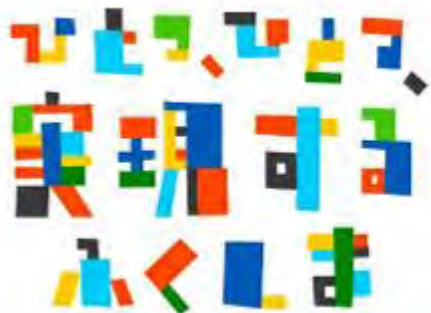
飯盛山

飯盛山は、会津の城下町を一望できる小高い山です。日本武尊などの神話も残る信仰の山です。慶応4年(1868)の戊辰戦争の際に、10代の会津藩氏による部隊「白虎隊」が、鶴ヶ城が煙に包まれているのを山から見て、城の陥落を嘆き自刃しました。若き藩士たちを思い、今でも多くの人が、慰霊に訪れます。

筆者コメント

ガイドさんから、飯盛山は白虎隊自刃の地でもあり、その怨霊を祀る神聖な場所でもあるため、マナーを守り節度ある行動で参拝するようにお話がありました。

白虎隊は自刃したにも関わらず、なぜ現代まで伝わっているのでしょうか？その理由を私は現地に行って初めて知りました。



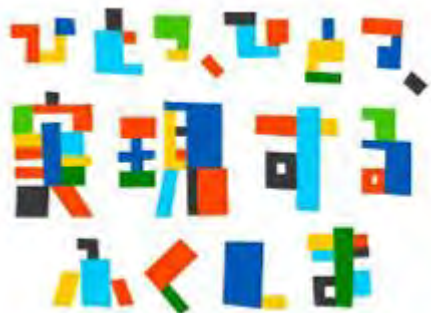


会津さざえ堂

会津さざえ堂は寛政8年(1796)福島県会津若松市の飯盛山に建立された、高さ16.5m、六角三層の国指定重要文化財のお堂。内部は2重らせんのスロープに沿って西国三十三観音像が安置され、このお堂にお参りすることで三十三観音参りができるといわれていました。上りと下りで同じところを通らずに見物できる世界にも珍しい建物です。平成8年に国重要文化財に指定されました。

筆者コメント 

きしむ床や貼られた大量のお札に歴史を感じる不思議な空間！



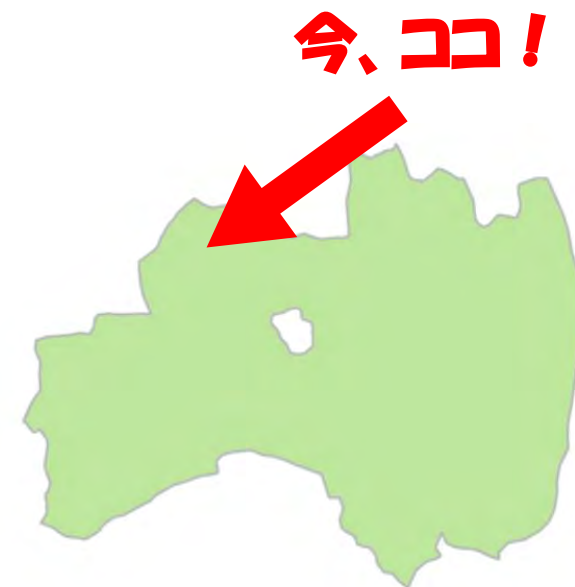
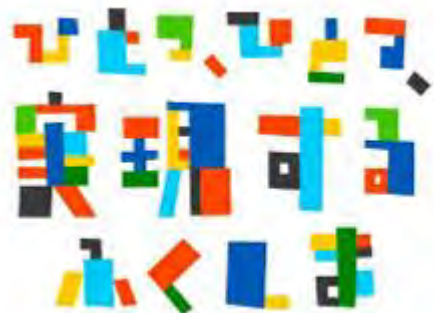


喜多方市内散策

福島県の西北部に位置する喜多方市は、日本三大ラーメンの喜多方ラーメンでも有名ですが、「蔵のまち喜多方」として多くの観光客が訪れます。はじめて訪れた人にも、懐かしい郷愁を感じさせる、素朴な趣のあるまちです。また、古くから酒造りが盛んで、現在でも11の蔵元が伝統と味を守り続けています。

筆者の味覚 

喜多方ラーメンは、独特な縮れのある麺が特徴です。そしてあっさりした味のスープも飲みやすく、しっかり飲み干しました 😊



AIZU PEANUTS MART

アイズピーナツモート



アイズピーナツモート

アイズピーナツモート



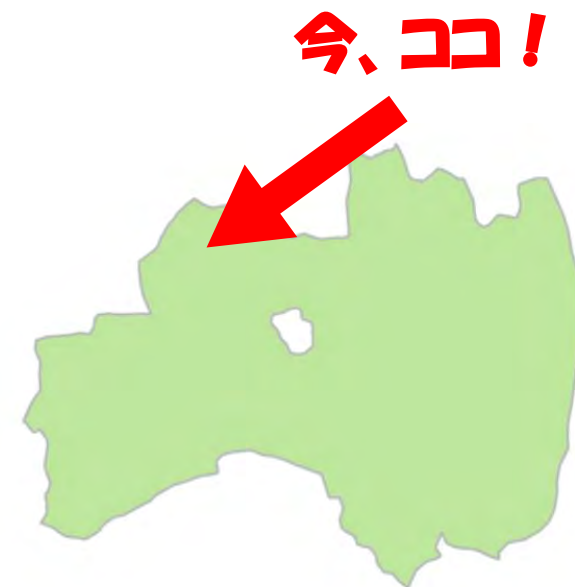
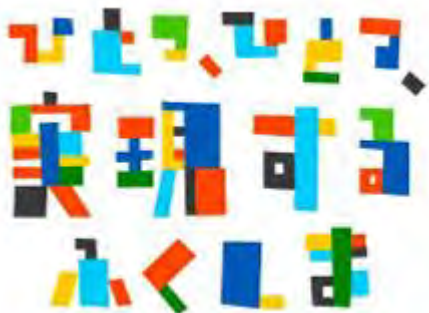
大和川酒造

大和川酒造は寛政二年(1790)創業以来、会津喜多方に蔵を構えています。喜多方の風土が生み出す自然の恵みと情熱、徹底した品質管理から良い酒は造られます。建てられた当時の酒造りの作業蔵を見学コースとして開放しています。

筆者より 

西条にいますと「お酒は西条」というイメージが染みついてしまいそうですが、福島は全国屈指の米どころ！このツアーに参加した酒豪の方々も思わず試飲酒を全種類制覇してしまうほどのおいしさ！

ちなみに、私のようにお酒が弱い方は大和川酒造では米作りに使われるお水を試飲させてもらえました。非常に飲みやすかったです！





穴原温泉 吉川屋

穴原温泉は、福島屈指の温泉街、飯坂温泉から2km上流にあり、「奥飯坂」とも呼ばれる。古くから創業している老舗旅館や大型旅館が密集しているが、自然との隔たりが少なく、川岸にはカモシカやサルの群れが時々現れるそう。肌に優しく、なめらかな弱アルカリ性単純泉の温泉が楽しめる、天保12年(1841年)創業の老舗旅館。

筆者のへえ～☝

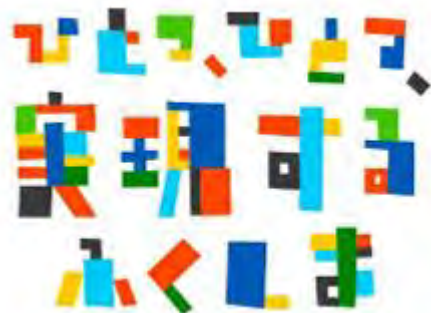
福島県

- | | | | |
|-------|------|-----------|-------|
| ・源泉地数 | 全国4位 | ・利用源泉数 | 全国10位 |
| ・源泉総数 | 全国8位 | ・ゆう出量(動力) | 全国10位 |
| ・宿泊施設 | 全国8位 | ・ゆう出量(自噴) | 全国7位 |

福島には温泉もある！

参考：福島県. 2023. 福島県の温泉 全国に占める位置(令和5年3月末現在).
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/620886.pdf>. 2024年10月24日.

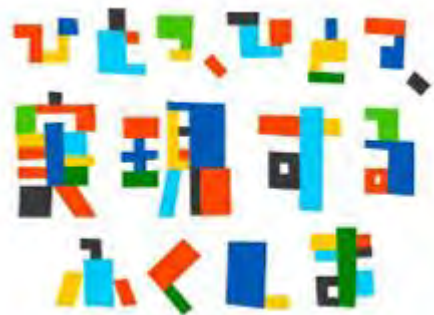
今、ココ！





まるせい果樹園

福島の代表的な特産品である桃を心行くまで堪能できる。
桃狩りで複数の品種のももを自分で選んで収穫してその場で食べることが出来る。甘くて香りも良く、絶品。



筆者ポイント 

熟した桃が好きな人向けに、すでに収穫済みの桃も用意されている。

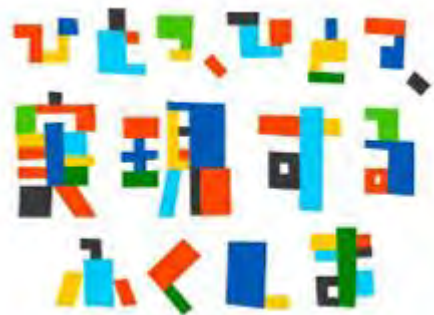




福島県庁

福島県庁ではスタディーツアーで学んだことの成果報告や、発信活動の計画を表明した。

震災を風化させず、なおかつ福島を震災のイメージから脱却した魅力的な観光地の一つとして多くの人に認識してもらいたい。



筆者ポイント 

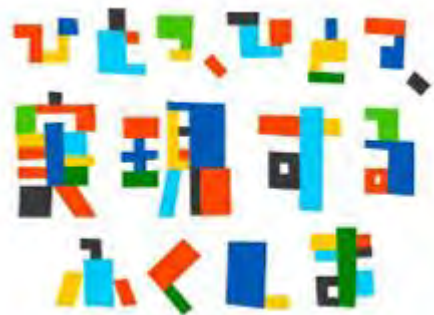
「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」の下で誰でも広報隊として福島のPR活動に参加できる。福島の魅力を感じた人は是非参加してみたい。





福島県観光物産館

お土産を販売しているほか、館内にフードコートもあり食事を取ること
できる。お土産は地元の郷土料理から、学校や職場で配るのに向いてい
る個包装のお菓子、そして自分で食べても嬉しい喜多方ラーメンのカッ
プ麺なども揃えられている。



筆者ポイント 

新幹線駅のすぐそばにあるのが非常に便利、帰る前に立
ち寄れば荷物にもなりにくいので非常におすすめ。



